

第3回 熊本県中九州横断道路事業調整会議における 国への提案について（市長コメント）

中九州横断道路の現在の状況などに係る情報共有や早期整備に向けた協力体制を図るため、国土交通省、熊本県、熊本市において設置した「第3回熊本県中九州横断道路事業調整会議」が、本日開催されました。

前回の第2回会議では、熊本県、熊本市より、熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、「中九州横断道路 熊本北～下硯川（熊本環状連絡道路）」の早期事業化を要望するとともに、中九州横断道路の確実な早期整備に向け、有料道路事業導入を提案しました。

本道路沿線では、世界的半導体企業であるTSMC関連の第1工場が本格稼働し、また第2工場の敷地造成工事が進むなど、更なる関連企業の集積による交通需要が高まっていることから、周辺地域では速度低下が確認されるなど、交通状況は既に悪化しており、「中九州横断道路」の早期整備が不可欠です。

特に、「大津西～下硯川」間については、早期整備の観点から、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう、要望・提案を重ねて参りました。

有料道路事業の導入については、今後も引き続き、熊本県と熊本市で協力し、県民・市民の理解促進に努めるとともに、中九州横断道路の1日も早い全線開通に向け、有料道路事業導入に伴う都市計画手続き等、国や熊本県と連携し、全力で取り組んで参ります。

令和7年（2025年）2月26日

熊本市長 大西一史